

令和3年度 石巻地区中学校新人大会サッカー競技実施要項(抜粋)

- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成するとともに、石巻地区の中学校生徒相互の親睦を図るものである。
- 2 主催 石巻地区中学校体育連盟
- 3 共催 石巻市教育委員会 女川町教育委員会 東松島市教育委員会
- 4 期 日 1日目 令和3年9月 25日(土) 予選リーグ
2日目 令和3年9月 26日(日) 決勝トーナメント
- 5 会 場 1日目・・・石巻総合運動公園フットボール場、ふれあいグラウンド
2日目・・・石巻総合運動公園フットボール場、ふれあいグラウンド
- 6 審判員 石巻サッカー協会審判部・各チーム審判員(有資格者)
- 7 競技規則 日本サッカー協会競技規則(最新版)及び中体連サッカー競技規則部内規定による。
- 8 大会規則
 - (1) 競技方法
 - ① 対戦方式
 - ・ 1日目は出場8チームが予選リーグ1, 2に分かれて、決勝トーナメントの組み合わせを決定する。
 - ・ 予選リーグの順位をもとに決勝トーナメントの組み合わせを決める。A, B2ブロックに分かれ、それぞれ優勝, 準優勝を決める。ブロック優勝チームの2チームが県大会出場。
 - ② 試合時間
 - ・ 全ての試合を50分間(25分ハーフ, インターバル5分)で行う。
 - ・ 予選リーグにおいて勝敗が決しない場合は、引き分けとする。
 - ・ 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない場合は、10分間(5分ハーフ)の延長戦を行う。それでも決しない場合は、PK戦を行う。
 - ③ 予選ブロック順位の決め方
 - ・ 「勝ち点(勝ち=3, 引き分け=1, 負け=0)」によって決める。
 - ・ 勝ち点が高い場合は「直接対決の結果」で決める。
 - ・ 直接対決が引き分けだった場合、または対戦していない場合は「得失点差」で決める。
 - ・ それでも決しない場合は「総得点」で決める。
 - ・ それでも決しない場合はフェアプレーポイントで決める。イエローカードは-1, イエロ

ーカード 2 枚での退場はー3，一発レッドカードはー4として計算。

- それでも決しない場合は大会本部にて「抽選」を行う。

④ メンバー用紙

- 各チームは競技開始20分前までに本部に「メンバー用紙」を提出すること。

⑤ 選手交代

- メンバー用紙に登録された選手7名の再交代を認める。
- 試合前にユニフォームのチェックを受けた交代要員は，交代する旨を本部に申し出ること。

⑥ 退場・警告

- 本大会において「退場」を命じられた選手は，次の1試合に出場できない。
- 本大会において2度「警告」を受けた選手は，次の1試合に出場できない。
- 退場については，専門部規律委員会でその後の対応を検討する。
- 所属チームの最終試合において，その大会中「2度目の警告を受けた選手」と「退場を命じられた選手」は，次の大会の初戦1試合に出場できない。

競技中の給水

- 水のみとする。

⑧ 飲水タイム

- 飲水タイムを必ず設ける。

⑨ 使用球・服装など

- 日本サッカー協会検定5号ボールを使用する。（中体連ボール使用）
- ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング：以後ユニフォームという）は原則として，日本サッカー協会ユニフォーム規定に従うものとする。
- ユニフォーム（シャツ）にはチーム名を入れる。
- ユニフォームは，登録選手全員分のシャツ，ショーツ，ストッキングのそれぞれが，メーカーやマーク等の規格が統一されたものとする。（合同チームについてはソックスはカラーのみの統一で認める）
- ユニフォームの番号は選手登録書に記載された選手固有の番号（1～99番）とする。
- ユニフォームは，正の他に副として正と異なる色のユニフォームを必ず用意すること。
- ゴールキーパーは，他のプレーヤーと色別できるものとする。
- 金属類，眼鏡（安全なスポーツグラスは除く），ギブス，装身具（ミサンガ，ネックレス，ヘアバンド（女子の髪留めは除く））等を身に付けての出場は認めない。
- 中学生らしくない髪型（染色，剃り，パーマ，異常なかりあげ等）の選手の出場は認めない。
- アンダーシャツとインナースパッツ（サーマルショーツ）は，それぞれシャツやショーツと同色のものとするのが望ましい。同色でない場合はチームで統一すること。ただし合同チームについては審判が見にくい範囲内で異なる色を認める。
- シャツの裾をパンツから出すことはルール違反ではなくなったが，教育的観点から，ユニフォームをきちんと着るように各チームで指導すること。
- ソックスに巻くテーピングは，ソックスと同色のものとする。

- ・ 審判との区別を明確にするため、黒や紺のユニフォームは使用しないこと。
- ・ 各チームのユニフォーム（4着）は、類似色とならないように留意すること。

（2）登録人員

- ・ 監督（教職員）1名，コーチ（外部コーチ・教職員）1名，役員（教職員）1名，選手18名の，計21名以内とする。（合同チームについてはコーチ・役員を1名以上置くことを認める。）
- ・ チームは原則として単独校でのチーム編成とするが，宮城県中学校体育連盟「複数校合同チーム参加規程」により，合同チームでのチーム編成を認める。
- ・ 登録人員の変更は，各チームの大会初戦の開始20分前までに行い，それ以降については認めない。第1試合の「メンバー提出用紙」に記載されたもので最終登録人員とする。

（3）表彰

- ・ 各ブロック優勝，準優勝のチーム・選手に賞状を授与する。
- ・ 優勝チームには優勝杯（次年度まで保持）を授与する。

（4）申し込み方法

- ・ 事前登録なし。
- ・ 「選手登録書（申込書）」と「外部コーチ任命承認願（必要なチームのみ）」（職印あり）を，大会初日の顧問会の際に提出すること。
- ・ サッカー競技規則第3条より，選手は7名以上で参加申し込みを行うこと。

サッカー競技規則 第3条 競技者の数

「試合は，11人以下の競技者からなる2つのチームによって行われる。各チームの競技者のうちの1人はゴールキーパーである。いずれかのチームが7人未満の場合，試合は開始されない。」

（5）その他の申し合わせ事項

- ・ 大会初日は，ピッチ内アップを禁止する。ただし，キーパーについてはその限りではない。ピッチ外でのアップの際には，スパイクは履かずに行わせる。
- ・ 2日目は，決勝戦のみ，ふれあいグラウンドでのピッチ内アップを認める。
- ・ ベンチは，本部からフィールドに向かって左側を番号の若いチームのものとする。
- ・ ベンチには選手登録書に名前がある者以外は入ることができない。
- ・ 前年度優勝チーム（矢本第一中，河南東中）は優勝杯を返還すること。
- ・ 2日間とも8:00から大会本部にて顧問会を行う。
- ・ 会場準備は第1試合に当たっているチームが行い（7:30から）後片付けは最終試合に当たっているチームが行う。
- ・ 顧問はチームの勝敗にかかわらず，学校事情が許す限り2日間ともに大会の運営に当たる。
- ・ ゴミは必ず持ち帰ること。
- ・ 本大会中，いずれの場合においても，規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たない場合，試合は行われず，予選リーグにおいては相手チームへ無条件に勝ち点3が付与される。なお，試合開始後に規定人数（サッカー競技規則 第3条 競技者の数）に満たな

くなった場合、そこまでのスコアとは関係なく、相手チームに3点の得点が付与され、自チームは0点となる。また、以降の試合においても上記の場合、同様の扱いとなり、予選ブロック代表権については以降のチームへ繰上げされ、2日目へは進出できない。

(6) コロナ対応について

- アップと試合以外の時間はマスクを着用すること。
- ベンチにいる選手はマスクを着用すること。
- ベンチ入る選手は、間隔を十分に空けて座ること。
- 試合開始・試合終了のセレモニーは握手無し。円陣も密集しないよう工夫して。
- ゴールを決めたときなどのハイタッチはなし。
- 待機場所は密にならないよう広くとること。特に更衣室を使う学校は中に入る人数が多くなるようにし、常に窓とドアを空けて換気を行うこと。
- 試合前と試合後のチームは全員石鹸で手洗いと消毒を行うこと。
- 更衣室を使ったチームは消毒を確実にすること。
- 開会式と閉会式は実施しない。
- 選手は試合開始1時間前に会場に来ること。(第1試合のチームを除く)
- 選手は自分たちの試合が終了したら、できる限り速やかに帰ること。
- 優勝、準優勝の表彰は決勝の試合終了後すぐに行う。
- 顧問は健康観察チェックシート、学校同行者一覧表を提出すること。
- ボトルの共用はしない。その代わりにすべての試合で飲水タイムを設ける。
- ゴミは各自持ち帰ること。
- 食事をする際は向かい合わないでお互いに距離をとること。

(7) 観客について

- 観客は常にベンチと反対側で観戦する。
フットボール場は本部反対側のスタンド。ふれあいはベンチと反対側の芝生の外。
- コーンや表示等で保護者を誘導する。
- 観客の人数制限については、登録メンバーの各家庭2名までとする。ただし、部員数が18名を超える学校については最大人数が36名を超えない範囲で調整を行っても良い。
- 観客としてくる保護者には、続柄と当日の体温を記入してもらう。
- フットボール場のスタンドについては使用したチームの保護者が責任を持って消毒を行う。消毒の物品については各チームで用意する。
- 観客は自分のチームの試合が終わったら会場から出るようにする。他チームの試合観戦は認めない。
- 観戦する際は、間隔をとって座り、声援は控える。
- 保護者に約束を守った上で観戦をしてもらうよう、各チームで連絡を徹底する。